



北海道発！最新の農業技術 ～道内の産学官から最新の技術シーズを一挙に紹介～



アグリ技術シーズセミナーは、農林水産・食品分野で、新たな産学官連携を推進するため、最新の研究情報の発信を行うセミナーです。全国各地のキラリと光る最新の技術シーズを集め、一挙に御紹介します。

第1回セミナーでは、北海道の産学官の研究機関から、最新の技術シーズを御紹介します。

なお、セミナー当日は、基調講演において北海道の食品分野の産学官連携等の状況について御紹介し、セミナー終了後には、講師やコーディネーターとの個別相談会を開催します。

参加費は無料です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：平成25年11月15日（金）13：15～17：15

会場：TKP東京駅前カンファレンスセンター ホール4A
（東京都中央区八重洲1-5-20 石塚八重洲ビル4階）

参加費：無料（個別相談会も無料）

※配布資料の準備の都合上、参加希望の方は11月13日（水）までに事務局までお申し込み下さい。
なお、会場に余裕がある場合に限り、当日連絡なしでのご入場も可能です。

主催：（公社）農林水産・食品産業技術振興協会、農林水産省

共催：NPO法人グリーンテクノバンク（札幌市）

プログラム

【挨拶】（公社）農林水産・食品産業技術振興協会 13:15～13:20

【基調講演】

「北海道の食品分野の産学官連携と国際拠点の形成について」 13:20～14:00
木曾 良信 氏（北海道大学 産学連携本部 TLO部門長 特任教授）

【シーズ紹介】

1)「超低コストのGABA製造法と、それを用いたGABA高含有もやし等の開発」 14:00～14:25
鈴木 達郎 氏（（独）農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター
企画管理部 業務推進室 企画チーム長）

2)「シソエキスと酵素処理アスパラガス茎熱水抽出物を用いた健康食品開発」 14:25～14:50
三浦 健人 氏（（株）アミノアップ化学 学術部 学術開発室 室長）

3)「オカラおよび赤ビート根に含まれる機能性物質の利用
ー特に*Bacillus*属細菌の芽胞形成促進活性オリゴペプチドへの注目ー」 15:00～15:25
橋床 泰之 氏（北海道大学大学院農学研究院 教授）

4)「DNA分析によるコンブの原産国判別技術と新規アルギン酸分解酵素」 15:25～15:50
清水 健志 氏（（公財）函館地域産業振興財団 北海道立工業技術センター
研究開発部 食産業技術支援グループ 研究主任）

5)「ベジタブルアイスインジェクションシステム」 15:50～16:15
及川寿恵男 氏（（株）ニッコー 常務取締役）

6)「加工用馬鈴しょのエチレンを用いた高品質貯蔵技術」 16:15～16:40
松永 浩 氏（（地独）北海道立総合研究機構 北海道立十勝農業試験場
研究部 地域技術グループ 研究主査）

※発表するシーズの概要、マッチングを想定する対象等は裏面をご覧ください。

【個別相談会】 16:40～17:15

共同研究形成等に向けた連携相談、技術相談に講師やコーディネーターが対応致します。

（セミナーにおいて紹介する技術シーズに関するご相談以外にも、農林水産・食品分野の研究に関する
ご相談全般に対応致します）

【シーズ紹介の概要】

①「超低コストのGABA製造法と、それを用いたGABA高含有もやし等の開発」

鈴木 達郎 氏((独)農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター)

(発表内容)

高めの血圧を下げる効果等が期待できるGABAは販売価格で1kg4万円と高価だが、超低コストのGABA製造法により従来の4分の1となる販売価格1万円で商品化された。そのGABAを応用し、通常品より数十倍GABAの多いもやし等を安価に製造することができる。

(マッチングの方向性)

◆ シーズを製品化する相手を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

◆ 製造業 (食品素材、製菓・製パン・製麺、もやし)
◆ 農林漁業関係者 (葉野菜、キノコ)
◆ 商社 (食品素材・副原料を扱う代理店等)

②「シソエキスと酵素処理アスパラガス茎熱水抽出物を用いた健康食品開発」

三浦 健人 氏((株)アミノアップ化学)

(発表内容)

北海道産の減農薬で栽培されたシソ葉の抽出エキスを用いた抗アレルギー素材や、アスパラガスの茎を酵素処理して熱水抽出したエキスを用いた抗ストレス素材などの機能性食品素材について、機能性研究のデータを元に紹介する。

(マッチングの方向性)

◆ シーズを製品化する相手を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

◆ 食品製造業 (健康食品)
◆ プライベートブランドを持つ小売業

③「オカラおよび赤ビート根に含まれる機能性物質の利用」

橋床 泰之 氏(北海道大学)

(発表内容)

オカラと赤ビートそれぞれの水溶性オリゴペプチド画分に、ピオン培地中 *Bacillus* 属細菌に対する抗菌性環状リポペプチド類産生誘導活性物質を見出し、これが菌体の芽胞形成を同時に誘導することを発見した。アミノ酸リッチな植物食資源からの新機能性物質として期待される。

(マッチングの方向性)

◆ 共同研究相手を見つけたい(活性物質の腸内細菌への影響や、食資源であるオカラと赤ビートの機能性の共同研究)

(マッチングを想定する対象)

◆ 共同研究機関 ◆ 製造業 (発酵食品、動物栄養剤)
◆ 食品加工業

④「DNA分析によるコンブの原産国判別技術と新規アルギン酸分解酵素」

清水 健志 氏((公財)函館地域産業振興財団 北海道立工業技術センター)

(発表内容)

DNA分析により、中国産、韓国産、国産のコンブを高精度に判別する技術を紹介。さらに、褐藻類のDNA抽出技術や技術開発の過程で見出された強力な活性を持つ新規なアルギン酸分解酵素についても紹介する。

(マッチングの方向性)

◆ 共同研究相手を見つけたい
◆ シーズを製品化する相手を見つけたい
◆ 技術移転先を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

◆ 共同研究機関 ◆ 検査分析機関 ◆ 製造業 (化学工業)
◆ 商社

⑤「ベジタブルアイスインJECTIONシステム」

及川寿恵男 氏((株)ニッコー)

(発表内容)

野菜の入った箱の中に、水と雪氷状の氷を一緒に注入し、箱から水だけを抜くことで、雪氷状の氷が野菜の隅々まで行き渡り、鮮度を保持したまま新鮮な野菜を消費者に提供できる。温度が0℃なので野菜が凍ることなく、野菜に必要な湿度も簡単に得ることができる。

(マッチングの方向性)

◆ 分析機関を見つけたい (野菜、青果分析、データ取り)

(マッチングを想定する対象)

◆ 分析機関 ◆ 農林漁業関係者

⑥「加工用馬鈴しょのエチレンを用いた高品質貯蔵技術」

松永 浩 氏((地独)北海道立総合研究機構 北海道立十勝農業試験場)

(発表内容)

エチレングスを用いることにより、加工用(ポテトチップス)馬鈴しょをチップカラーが良好な状態を保ちながら4月以降の出荷でも芽の伸びを抑制できる貯蔵技術について紹介する。

(マッチングの方向性)

◆ 共同研究相手を見つけたい
◆ 技術移転先を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

◆ 共同研究機関 ◆ 食品製造業 ◆ 農林漁業関係者

◆ 地域産学連携支援委託事業とは？

農林水産省が、農林水産・食品分野において産学連携による研究活動を活性化するため実施している事業です。全国に農林水産・食品分野の高度な専門知識を有する「コーディネーター」を配置し、研究計画の作成等、様々な支援を行っています。事業の概要や相談窓口は、ホームページ「<http://agri-renkei.jp/>」をご覧ください。

【事務局】(公社)農林水産・食品産業技術振興協会
イノベーション事業部 川畑・酒井・佐藤
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル7階
TEL:03-3586-8644, FAX:03-3586-8277,
E-mail:renkei-seminar@jataff.jp

平成 25 年度地域産学連携支援委託事業 第 1 回アグリ技術シーズセミナー
 北海道発！最新の農業技術 ～道内の産学官から最新の技術シーズを一挙に紹介～ (11/15 開催)
 会場「TKP 東京駅前カンファレンスセンター」案内図



平成 25 年度地域産学連携支援委託事業 第 1 回アグリ技術シーズセミナー
 北海道発！最新の農業技術 ～道内の産学官から最新の技術シーズを一挙に紹介～ (11/15 開催)
 参加申込書

宛先：(公社) 農林水産・食品産業技術振興協会 イノベーション事業部
 E-mail: renkei-seminar@jataff.jp 又は FAX: 03-3586-8277
 (E-mail の場合、必要事項をテキスト入力頂ければ結構です。)

氏 名： _____

勤務先： _____

部署・役職： _____

住 所：〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

E-Mail： _____

個別相談会希望： _____ () (希望される方は○印をご記入下さい)

個別相談内容 (個別相談会へ参加を希望される方は簡潔かつできるだけ具体的にご記入下さい)：

※申込書の取り扱いは本セミナー実施に係る業務にのみ限定し、目的以外には使用致しません。